



順天堂大学 男女共同参画推進室・女性研究者支援室

〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号 ☎03-5802-1009

✉ sankaku@juntendo.ac.jp

■男女共同参画推進室HP <http://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/>

■女性研究者支援室HP <http://www.juntendo.ac.jp/jyosei/>

第2回リーダーシップ向上セミナーを開催しました

平成29年10月31日(火)に順天堂大学にて、第2回リーダーシップ向上セミナー「看護職による“女性の知恵”を活かしたリーダーシップ・マネジメントについて」を開催いたしました。

当日は、順天堂医院看護部長の幅下 貞美氏、東京医科歯科大学副院長兼看護部長の川崎 つま子氏を講師にお招きし、本学及び東京医科歯科大学などから多数の方にご参加いただきました。

お二方からは、それぞれの経歴を紹介された後、看護部長としてどのような点に注力されているかや看護師の人材育成についてお話いただきました。

質疑応答では「看護職は女性で多く構成されているが、男性が部下に入った場合どのようなことが求められますか」といった問いに幅下氏は「看護職は昔に比べて男女差がなくなり、男性も当たり前で看護の現場にいます。転換の方法でどのような業務においてもできませんではなく、どうしたらできるかを考えることが必要だと思います。」と回答されました。一方で川崎氏は「まずは看護の本質(=患者さんの命を守る)からぶれないようにすることが大切です。男女の役割を明確にして、性差のよいところを活用することが求められると思います。」と答えられました。看護に対する熱い思いをお二方の一つひとつの言葉から、汲み取ることができ、盛会のうちに終了となりました。



第7回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウムを開催しました

平成29年11月18日(土)に、東京医科歯科大学・株式会社ニッピとの共催にて第7回順天堂大学女性研究者研究活動支援シンポジウム「イノベーションによる未来の働き方の創生 ～医科学領域における女性の更なる活躍に向けて～」を開催いたしました。

当日は、新井 一氏(順天堂大学・学長)の挨拶で開会し、基調講演には南 砂氏(読売新聞東京本社・常務取締役調査研究本部長)をお迎えし、「女性活躍支援政策の光と影」と題し、ご講演をいただきました。ご講演では、終戦後からの日本の男女共同参画の政策を振り返りながらその歩みと現状を確認し、そのうえで女性活躍支援はどのような方向に向かって進むべきかをお話いただきました。

また、特別講演には小菅 真一氏(北米三菱商事)にご登壇いただき、「シリコンバレーよりAIの最新動向について」という題で、AIや遠隔医療等の技術が働く上での課題を如何に解決し得るかという視点で、シリコンバレーを中心とする米国発のヘルスケア関連のスタートアップの紹介やAI技術が現段階でどこまで企業で採用されているかといったところについてお話いただきました。

プログラムのおわりには、平澤恵理氏(順天堂大学・教授)を座長に迎え、隈丸加奈子氏(順天堂大学・准教授)、野田愛氏(順天堂大学・特任准教授)の2名の若手研究者よりそれぞれご自身の研究内容について発表いただきました。シンポジウムは宮崎泰成氏(東京医科歯科大学・教授)の挨拶で閉会となりました。当日は、学内外から多くの方にご参加いただき、男女共同参画や、最新技術を用いた今後の働き方などについて多数の有益な意見・感想をいただきました。

